

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2016年度 第1号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
<http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>



©岐阜県

この度の人事異動により多くの職員が新たに仲間に加わりました。2016年度も現場で使ってもらえる成果を目指して、これまで以上にがんばってゆきますので、よろしくお願い致します。

さて、本号では、近年全国的に関心を集めている良食味米の生産に関する試験研究の取り組み状況、並びに本研究所で育成したモモの新品種についてご紹介します。

「特A」獲得に向けたコシヒカリの栽培条件を明らかにする

飛騨地域の水稲基幹品種である「コシヒカリ」は品質・食味共に市場評価が高く、近年はブランド化へ向けたプロジェクトが立ち上がっています。また、(一財)日本穀物検定協会により公表される食味ランキングは「A」ランクが長く続いてきましたが、平成26年度、27年度と連続して、最高ランクである「特A」を獲得し、飛騨地域産「コシヒカリ」の食味の良さが改めて明らかとなりました。

そこで、当研究所では施肥方法・移植時期・選別等の栽培条件が「コシヒカリ」の食味に与える影響について調査を行い、食味ランキングにおいて「特A」を獲得するための栽培条件の明確化に取り組んでいます。平成27年度の試験では玄米の整粒歩合を高めることや穂肥施用量の調整によって玄米タンパク質含量を制御することが「特A」の獲得に効果が高いとの結果が出ており、本年度は登熟期間の葉色の推移を調査し、葉色から玄米タンパク質含量を推定する方法の検討等を行っていきます。

【本所作物担当 佐藤秀人】



コシヒカリ（1等米）



食味分析機器（東洋ライス株式会社製）

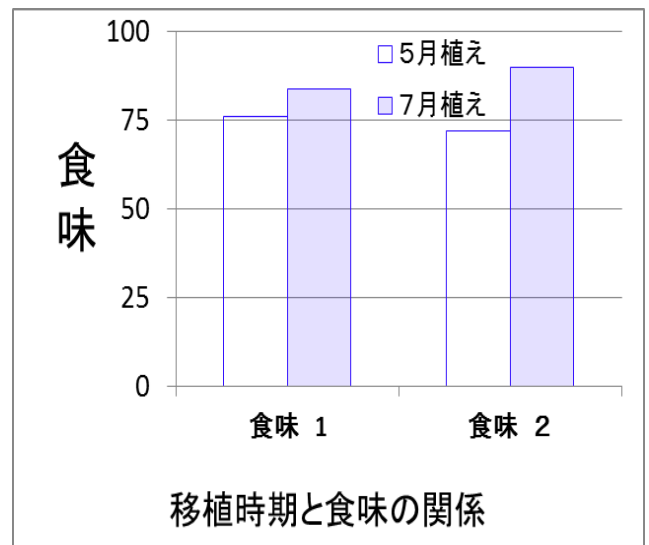
● 「特A」獲得に向けた中津川支所での取り組み

飛騨に続き美濃地域で栽培される「コシヒカリ」も「特A」評価となりました。この評価を本年も維持し、さらにおいしいコシヒカリを生産する研究を中津川支所でも行っています。

本年度は、ゴールデンウィークを中心に行われている田植え時期を、遅くすることが食味向上にどのような影響があるのかを中心に検討します。

昨年度は7月上旬移植で食味が向上する傾向があったので、この追試や登熟期間の地温（気温）と食味との関係調査を行います。

【支所作物担当 可児友哉】



● モモ新品種「飛騨おとめ」県内各地で結実期を迎える

当研究所で育成したモモ「飛騨おとめ」は、平成25年に品種登録された期待の新品種です。外観が良く大玉で、糖度が高く食味が良いことから、飛騨地域を中心に栽培が急速に進んでいます。今後はさらに県内各地へ広めるため、本巢市、岐阜市、美濃加茂市、恵那市などにおいても現地試験を実施しており、本年度からいよいよ本格的な結実が始まります。県内各地で美味しいモモが収穫できることを期待しています。

【本所果樹担当 宮本善秋】



人事異動（平成28年4月1日付） よろしくお願ひします。

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
米山誠一	所長	農業技術センター	野川徳三	退職	所長
可児友哉	中津川支所 研究員	新任	熊澤良介	国際園芸アカデミー	中津川支所 主任専門研究員
大江栄三	中津川支所 農業技術指導員	新任	山本好文	退職	中津川支所 主任専門研究員
梅本勝弘	中津川支所 圃場等管理業務専門職	新任	鈴木博貴	退職	中津川支所 圃場等管理業務専門職
中神正博	中津川支所 圃場等管理業務専門職	新任			